

地域のブランド力を高める国際協力

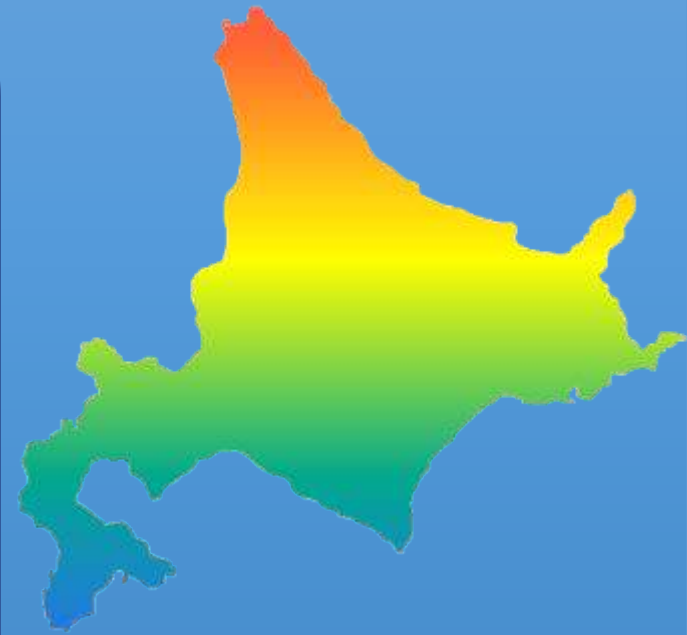
グローバル化が進む国際社会では、各国間の相互依存関係はますます深まっており、海外の諸問題に対して積極的に取り組むことが求められています。

そうしたなか国際協力活動が、途上国への貢献とともに、地域活性化の一助となる成功事例が生まれています。

本年度の地域国際化ステップアップセミナーでは、国内の「地域のブランド力」を高めた事例などを参考に、国際協力活動が国内外にもたらす地域活性化や国際化の効果を知る機会を提供します。

地域づくりの観点からも有益な内容となっています。

みなさまのご参加お待ちしております。



日 時：平成27年9月4日（金） 14：00～17：15

■会 場：札幌市教育文化会館 研修室301

（〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目 [TEL:011-271-5821](tel:011-271-5821)）

札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分

市電「西15丁目」停から徒歩10分

JRバス、中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分

■対 象：40名（先着順。定員になり次第終了）

自治体職員・地域国際化協会職員、NPO/NGO関係者、その他関心のある方（企業、学生、および一般市民）

■参加費：無料

■申込方法：①～④を記載の上、下記メールアドレスあてにお申し込みください。

＜①お名前（ふりがな） ②ご所属 ③ご連絡先（TEL、E-mail） ④交流会の参加の有無＞

■お問い合わせ：市民国際プラザ 担当：齋藤

E-mail：international_cooperation@plaza-clair.jp 電 話：03-5213-1734

市民国際プラザHPはこちらから検索お願いします！

市民国際プラザ

検索



■主 催：（一財）自治体国際化協会（市民国際プラザ）

■共 催：（公社）北海道国際交流・協力総合センター、JICA北海道（申請中）

■後 援：北海道、札幌市、滝川市、（公財）札幌国際プラザ、北海道NGOネットワーク協議会、（特活）国際協力NGOセンター、（一部申請中）

■企画・運営協力（一財）北海道国際交流センター

プログラム		
14:00～ 14:10	挨拶・趣旨説明	(一財)自治体国際化協会
14:10～ 14:35	話題提供 国際社会から日本の自治体が求められていること 国際社会では、国際協力活動は一方的な途上国の支援にとどまらないとされています。国際社会の動向と、国際社会から自治体に求められる役割についてお話いただきます。	近藤 哲生氏 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所 駐日代表
14:35～ 15:00	事例発表1 助成金と人材研修を上手に活用！ 国際協力によるTAKIKAWA CITYのブランド強化	山内 康裕氏 滝川市 国際課 課長
15:00～ 15:25	事例発表2 日本ブランド”道の駅”を海外に！農業の6次産業化による地域振興	加藤 文男氏 株式会社ちば南房総 取締役
15:25～ 15:45	事例発表3 国際会議の誘致も成功！日本初！フェアトレードシティくまもと	明石 祥子氏 フェアトレードシティくまもと推進委員会 代表理事
15:45～ 15:50	まとめ・提案 国際協力活動がもたらす国内地域のブランド力強化	近藤 哲生氏 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所 駐日代表

休憩15：50～16：00		
16:00～ 17:00	グループディスカッション	池田 誠氏 一般財団法人 北海道国際交流センター 事務局長
17:00～ 17:15	質疑応答・総括	

プロフィール	※セミナー終了後、希望者のみ別会場にて交流会あり。（会費実費。3500円程度）
--------	---



近藤 哲生氏 国連開発計画（UNDP）駐日代表

1981年外務省入省。在フランス大使館、在ザイル大使館、日本政府国連代表部等を経て、2001年UNDPへ出向。2005年外務省を退職し、UNDP東ティモール人道支援調整・資金担当上級顧問、UNDPコソボ事務所常駐副代表、UNDPチャド事務所長等を歴任。2014年1月より現職。米国ジョーンズ国際大学（UNDP開発アカデミー）開発学修士号取得。



山内 康裕氏 滝川市総務部 国際課長

’87年中学校英語教諭 ’94年文部省日本語教員派遣事業（通称：REXプログラム）により米国マサチューセッツ州スプリングフィールド市教育委員会派遣 ’98年社団法人北方圏センター ’00年滝川市職員 シュニア大使訪問団やスタディーツアー派遣などによる地域間交流、クリアLGOTP事業などによる技術研修員受入、JICA等と連携した国際協力事業等を活かした人材育成、相互地域活性化などに取り組む。（一財）自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー （一社）滝川国際交流協会理事 （公財）そらぶちキッズキャンプ理事 北海道NGOネットワーク協議会理事



加藤 文男氏 株式会社ちば南房総 取締役

千葉県南房総市にある「道の駅とみうら枇杷倶楽部」の計画から運営まで、12年間携わる。07年から3年間、ベトナム平和と発展財団の招聘でベトナム中部の「ビンアン道の駅」の開設支援行い、11年からは同地区でJICA草の根技術協力のプロジェクトリーダーとして、道の駅を基盤とした地域振興に取り組んでいる。元南房総市企画部長。



明石 祥子氏 フェアトレードシティくまもと推進委員会

1994年10月、「LoveLand」を姉から譲り受け、フェアトレード専門店「らぶらんどエンジェル」へ。2011年6月、アジア初・世界で1000番目の「フェアトレード・シティ熊本市」の実現を果たした。2014年3月、「第8回フェアトレードタウン国際会議inくまもと」の実行委員長を務めた。フェアトレード ラブランド代表、フェアトレードシティくまもと推進委員会代表理事



池田 誠氏 一般財団法人北海道国際交流センター 事務局長

一般財団法人 北海道国際交流センター（HIF） 事務局長（はこだて若者サポートステーション 統括コーディネーター）
函館生まれ。1984年小樽商科大学卒業後JTBにて11年間勤務。95年に退職、1年間、ニュージーランドでグリーンツーリズムや、パーマカルチャー、バイオダイナミックなどを学びながらサバイバル生活。帰国後、共働学舎新得農場にて有機農業、ナチュラルチーズづくりなどを担当、ハンディキャップをもった人たちとの共同生活をする。その後、七飯町大沼の山川牧場にて、牛の搾乳、ヨーグルトやチーズ加工をし、2001年5月より現職。2004年、大沼周辺をステージに環境教育から未来を考える「大沼マイルストーン22」を設立。海外ボランティアと共に大沼環境保全活動を毎年実施している。現在、外務省NGO相談員、北海道地球温暖化防止推進活動員、日本国際ワークキャンプセンター評議員、ESD-J理事、ボラナビ倶楽部理事、北海道アフリカネットワーク代表、防災を考えるDIGネットワーク函館事務局長。大沼ラムサール協議会委員、七飯町大沼在住。趣味はトレッキングと料理。